



そうへい 僧兵くんおすすめ

温泉で入浴 歩いて森林浴 少し止まって森呼吸



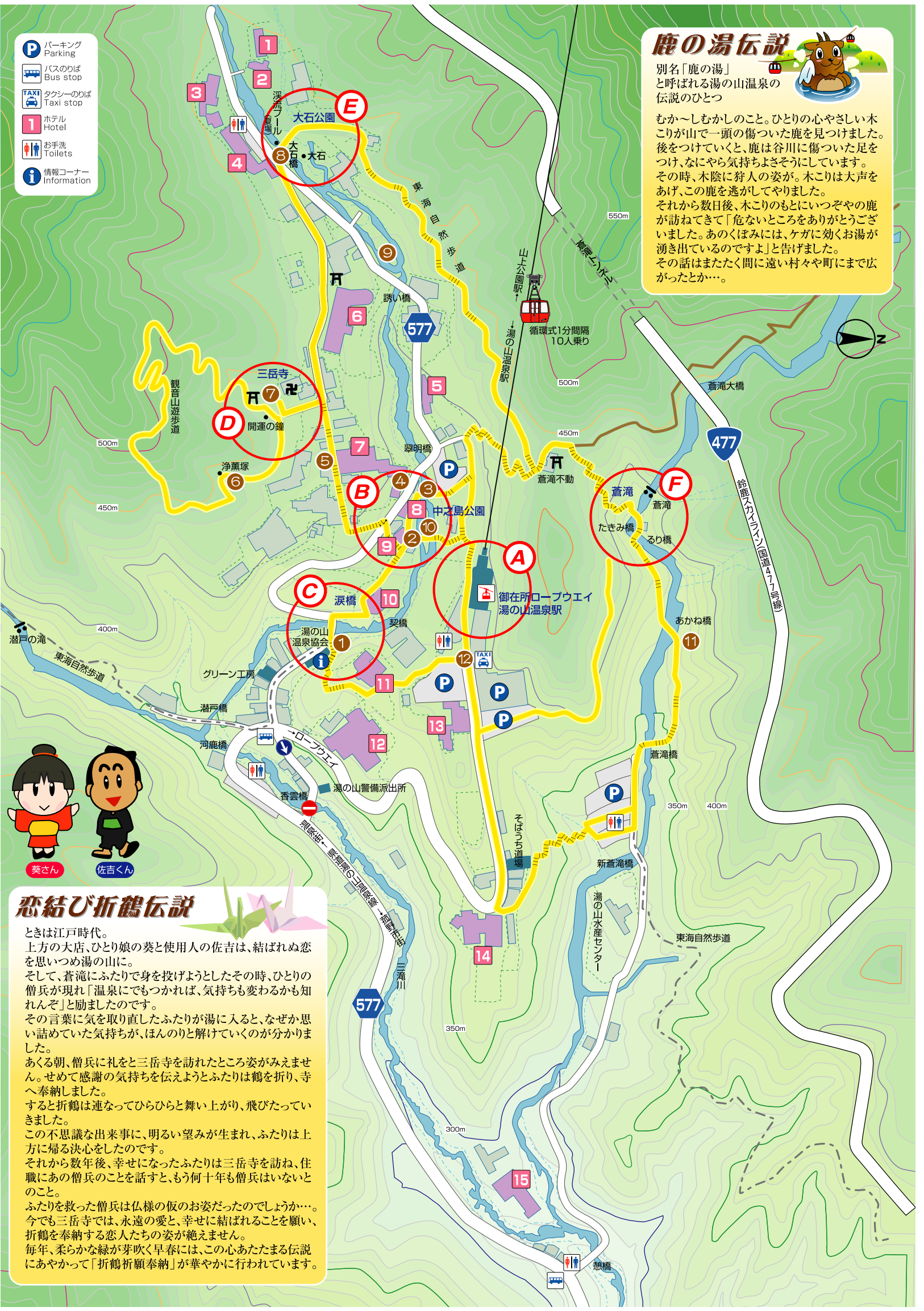
No.	湯	施設名	電話番号	日曜入浴	入浴時間	料金
1	♨️	山峡荘	059-392-2785			
2	♨️	三鈴荘	059-392-2702			
3	♨️	三峯園	059-392-2513	○	11:00~15:00	800円
4	♨️	蔵之助	059-392-2509	○	平日 9:00~17:00 日祝 10:00~17:00	800円
5	♨️	美奈川	059-392-2161			
6	♨️	オテル・マロニエ	059-392-3210	○	日~木 13:00~21:00	1,000円
7	♨️	寿亭	059-392-2131	○	11:30~15:00	800円
8	♨️	ペンションきんこんかん	059-392-2925			
9	♨️	翠明館	059-392-2185			
10	♨️	翠月	059-392-2661	○	11:00~15:00	800円
11	♨️	三慶園	059-392-2255	○	11:00~15:00	800円
12	♨️	鹿の湯ホテル	059-392-3141	○	11:00~15:00	1,000円
13	♨️	ホテル湯の本	059-392-2141	○	11:30~16:00	800円
14	♨️	彩 向陽	059-392-3135	○	11:00~15:00	525円
15	♨️	国民宿舎 湯の山ロッジ	059-392-3155	○	11:00~20:00	450円

♨️は温泉です 施設により休みが異なりますのでご利用の際は事前にご確認ください。



- ### 湯の山 歴史こぼれ話の道
- 1 「鈴木小舟の歌碑」
 - 2 「蒼滝の常夜燈」
 - 3 「蒼滝橋を架けた定五郎」
 - 4 「阪 正臣歌碑」
 - 5 「盛岡から来た植物採集家」
 - 6 「温泉の湯元」
 - 7 「湯の山三岳寺 芭蕉の句碑」
 - 8 「大石橋と小菅剣之助」
 - 9 「佐々木信綱の歌碑」
 - 10 「菟野山の調査」
 - 11 「蛸杉」
 - 12 「御在所山か、ございしょが岳か」

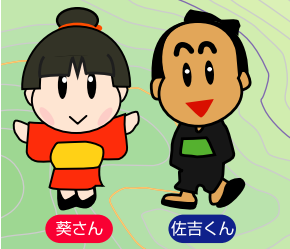
*制作：御在所・湯の山地域ふるさとづくり推進協議会(湯の山温泉協会内) Tel.059-392-2115



鹿の湯伝説

別名「鹿の湯」と呼ばれる湯の山温泉の伝説のひとつ

むか〜しむかしのこと。ひとりの心やさしい木こりが山で一頭の傷ついた鹿を見つけました。後をつけていくと、鹿は谷川に傷ついた足をつけ、なにやら気持ちよさそうにしています。その時、木陰に狩人の姿が。木こりは大声をあげ、この鹿を逃がしてやりました。それから数日後、木こりのもとにいつぞやの鹿が訪ねてきて「危ないところをありがとうございました。あのかほみには、ケガに効くお湯が湧き出ているですよ」と告げました。その話はまたたく間に遠い村々や町にまで広がったとか…。



恋結び折鶴伝説

ときは江戸時代。上方の大店、ひとり娘の葵と使用人の佐吉は、結ばれぬ恋を思いつめ湯の山に。そして、蒼滝にふたりで身を投げようとしたその時、ひとりの僧兵が現れ「温泉にでもつかれば、気持ちも変わるかも知れんぞ」と励ましたのです。その言葉に気を取り直したふたりが湯に入ると、なぜか思い詰めていた気持ちが、ほんのりと解けていくのがわかりました。あくる朝、僧兵に礼をと三岳寺を訪れたところ姿がみえません。せめて感謝の気持ちを伝えようふたりは鶴を折り、寺へ奉納しました。すると折鶴は連なってひらひらと舞い上がり、飛びたっていました。この不思議な出来事に、明るい望みが生まれ、ふたりは上方に帰る決心をしたのです。それから数年後、幸せになったふたりは三岳寺を訪ね、住職にあの僧兵のことを話すと、もう何十年も僧兵はいないとのこと。ふたりを救った僧兵は仏様の仮のお姿だったのでしょか…。今でも三岳寺では、永遠の愛と、幸せに結ばれることを願い、折鶴を奉納する恋人たちの姿が絶えません。毎年、柔らかな緑が芽吹く早春には、この心あたたまる伝説にあやかって「折鶴祈願奉納」が華やかに行われています。